

授業科目 学校栄養指導論 II

【担当教員名】 笹川 トシ子	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	○	◎
【概要・一般目標：G10】 管理栄養士養成科目の栄養教育論、栄養教育論実習、カウンセリング技法等で学んだ基礎学習及び学校栄養指導論Ⅰの講義内容をもとに、演習を通じて食に関する指導（児童生徒や保護者への個別的な相談指導・助言、児童生徒への教科・特別活動等における集団指導、学校全体における食に関する指導の連携・調整）の技術を修得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童生徒が抱える食生活及び栄養上の問題点の把握し、解決のための方法を説明できる。 2. 把握した問題を個別指導・学級での指導・学校全体での指導に分けることができる。 3. 各学校の「食に関する指導の目標」を説明できる。 4. 教科等における食に関する単元・題材を抽出できる。 5. 食に関する指導を行う上での各学年における児童生徒の発達段階の特徴を説明できる。 6. 学級の実態に応じた食に関する指導内容の必要性について説明できる。 7. 科学的根拠に基づいた指導教材を収集し、発達段階に応じて作成できる。 8. 食に関する指導の授業終了時の児童生徒の姿を児童生徒の立場の文言で表現することができる。 9. 授業における導入・展開・終末のあり方や方法、指導案作成上の述語について説明できる。 10. 学級の実態に応じた食に関する指導の模擬授業のための指導案を構成できる。 11. 模擬授業の板書計画を作成できる。 12. 模擬授業の構想について説明し、意見を交換し、より良い指導案にすることができる。 13. 学級の実態に応じた食に関する指導の模擬授業を実施できる。 14. 模擬授業後、授業に関しての課題等について話し合うことができる。 15. 模擬授業実施の反省や意見をもとに指導案の修正ができる。 				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション・集団内の食に係わる問題点の把握			講義
2	把握した食に関わる問題点と指導方法の検討			講義・討議
3	教科等における食に関わる単元・題材の抽出（小学校）			調査
4	教科等における食に関わる単元・題材の抽出（中学校）			調査
5	食に関する指導のための指導案作成の基本			講義
6	指導案の作成、媒体の準備			各自作成
7	指導案検討（1）			発表・討議
8	模擬授業（特別活動や関連教科等）・授業協議（1）			発表・討議
9	指導案検討（2）			発表・討議
10	模擬授業（特別活動や関連教科等）・授業協議（2）			発表・討議
11	指導案検討（3）			発表・討議
12	模擬授業（特別活動や関連教科等）・授業協議（3）			発表・討議
13	指導案検討（4）			発表・討議
14	模擬授業（特別活動や関連教科等）・授業協議（4）			発表・討議
15	指導案集録作成・まとめ			講義・討議
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>
		<発行年・価格 他>		
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 指導案と模擬授業、出席状況、授業態度から総合的に評価する。		【履修上の留意点】 積極的な参加		